

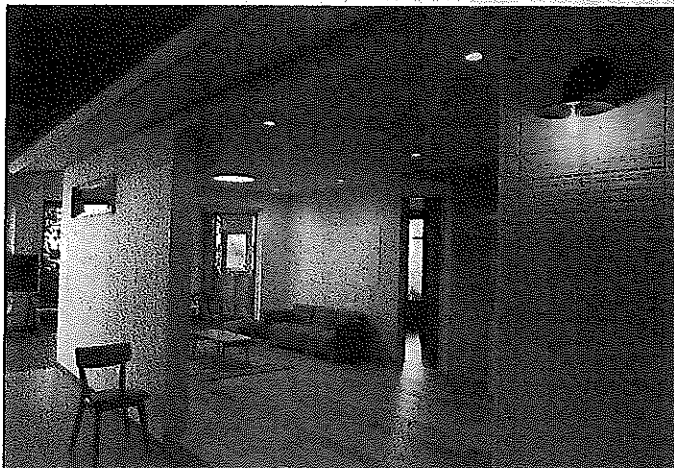
建物の中に「秘密基地」

あさひほうむ
モデルルーム
きょうから見学会

弘前

弘前市早稲田2丁目の建設・不動産会社あさひほうむ(葛西真太郎代表取締役)は29日から、社屋内に新設されたモデルルームと一部展示エリアの見学会を開催する。

建物の中に建物を建てるというスタイルは全国的にも珍しく、図面の上だけでなく、実際にその建物の中で設備などを見ながら打ち合わせできる、「建物の空間展示」があったらいいという考えから生まれた。モデルルームのメインと



なるリビングとダイニングキッチン、トレンドカラー

のグレーッシュやペールトーンを基調とした北歐風の落ち着いた色使いとなっている。センサー付きの水栓など、新型コロナウイルス禍で変わった住宅トレンドも押さえた。

一部オープンする展示エリアには、ガス衣類乾燥機やスロップシンクなど今注目されている設備が設置されているランドリーエリア、フロア

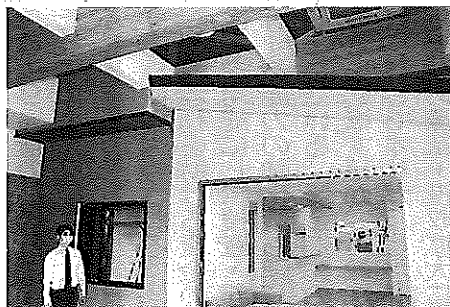
のサンバルが数多く並び、ふやかりなどのほか、「秘密基地」と呼ばれる、さまざまなこだわりの詰まった部屋がある。トグル式の照明スイッチ、セルフペイント、ボルタリングスポット、アンティークショップから仕入れた味のある家具のリメイク、実際に使用されていた建物のれんがなど、子どもの頃、秘密基地を作った楽しんでいた感覚を思い出させてくれるような造りとなっている。

葛西代表取締役は「図面の上だけでなく、実際に訪れ、体感してもらうことで家づくりの楽しさ、魅力を感じてほしい」と語った。見学会は5月8日まで、完全予約制。(鈴木滋)

弘前「あさひほうむ」社屋内にモデル住宅

きょうオープン

弘前市の住宅メーカー・あさひほうむ(葛西真太郎社長)は、同市早稲田2丁目の本社社屋の中にモデルハウスを1軒建てた。「家の中に家」という斬新な展示スペースは29日にオープンする。



モデルハウスは屋根まで社屋の中に建てたモデルハウス。社屋の天井のはりの下にある屋根が一戸建て感を出している。左が葛西社長

の高さ3・5mで面積約50平方m。1月末に着工し、数百万円かけて完成させた。リビング、ダイニングキッチンのほか部屋がいくつかある。

屋内での家作りを可能にしたのはもともと社屋の構造。葛西社長の父の重明会長が2001年に現在地に社屋を建てた際、家の中の設備などを展示する目的で、天井が高いスペースを作った。実際には想定通りに使うことはなく、打ち合わせなどの用途にとどまっていた。

葛西社長が何かしらの利用方法を考えていたところ、社員から「お客に見せるものが欲しい」との提案があり、思い切って家を建てることを決めた。本社の中にモデルハウスがあることで、図面ではなく、実物の家にながら客とイメージを共有することができると、別な場所にモデルハウスを建てた際に必要な人繰りの問題も解決できるというメリットがある。

葛西社長は「この空間を使って、家作りは楽しいという魅力を伝えたい」と話している。(福土和久)